

## 「第1回利用団体のための体験活動研修会」

### 1. 趣旨

国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が実際の活動プログラムを体験することで、施設の利用方法や各プログラムの内容を理解する。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

平成31年4月20日（土）

#### (2) 参加者

- ①参加対象 平成31年度利用団体（主に4～7月）で、活動プログラムの体験を希望する各団体の引率者
- ②参加人数 25名（11校）
- ③参加者の内訳 小学校16名、中学校9名

### 3. 企画運営のポイント

- ・各学校独自の下見では実施できない野外炊事を中心にプログラムを構成する。実際に野外炊事を児童・生徒と同じように体験することで、当日安全に活動が進められるようにする。また、選択プログラムとして、実績の多いオリエンテーリングと、教員が実際に指導できるよう「かんな箸作り」や「竹とんぼ作り」を取り入れる。
- ・施設見学では、施設の場所だけではなく、ガイドブックには記載していない情報などを伝える。
- ・参加する各学校に、事前に質問事項を出してもらうことで、当日の質疑応答の時間を有効に使えるようにする。（基本的なことの共通理解を図る）

### 4. 日程

	午前	午後	夜
4月20日 （土）	開会行事 施設見学 施設利用説明 質疑応答 野外炊事体験	選択プログラム体験 ・オリエンテーリング ・竹とんぼ作り ・かんな箸作り	

### 5. 主な活動内容



「施設見学」



「施設利用説明」



「野外炊事（調理班）」



「野外炊事（かまど班）」



「かんな箸作り」



「竹とんぼ作り」

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果（21名回収）

満足12名（57%） やや満足9名（43%） やや不満0名 不満0名

### (2) 参加者の声

- ・短時間でしたが、大変有意義でした。
- ・林間学校が楽しみになりました。
- ・施設見学では、児童が実際に使うところをしっかりと見せてもらえてとても満足です。
- ・全体がわかりやすい説明でありがたかったです。
- ・野外炊事では、実際にやってみることができ、指導のポイントがわかりました。
- ・とても助かりました。今後も継続していただけるとありがたいです。
- ・実際に体験してみて分かることが多くありました。
- ・事前にどの場所を知りたいか申込時に書けば、簡単に済む場所が増えるのではないかな。
- ・他校の先生方と同じグループになり、情報交換ができてよかったです。
- ・休日なので、できるだけ短くできるところは短くしてほしい。
- ・少し忙しかったですが、意図がはっきりしていてよかったです。
- ・オリエンテーション動画が分かりやすかった。
- ・もう1週早い時期での研修会でもよかったです。

### (3) 成果

- ①参加した先生方に多くの体験をしてもらい、話を聞くだけでは分からないことを実際に体験することで、各プログラムの指導のポイントを理解してもらえることができた。
- ②施設見学では、自主下見では分からないこと（施設の各場所の用途）など、ガイドブックには記載していない情報を参加した先生方に伝えることができた。
- ③施設利用について、動画を活用して全体で一斉に説明することで、参加した先生方の共通理解が図れた。（説明する者が複数になると、微妙に受け取り方が異なる）

### (4) 課題

- ①今回初めて実施した事業であったため、休日に行ったが、平日に実施した方がよいという意見も多くあった。次年度は平日や、春休み中の実施も検討していきたい。
- ②施設見学の時間が短かった。野外炊事がスムーズに行えることから、次回（第3回）では、施設見学に時間を十分に設定し、野外炊事の時間で調整していきたい。
- ③参加者が定員に満たなかったことから、多くの学校が自主下見を希望していることが分かったが、次年度は参加者が増えるよう、この研修会の利点等を各学校が入所しているときに伝えていきたい。

担当 主任企画指導専門職 梁河 昌彦